

木下けんじ事務所 〒239-0822 横須賀市浦賀5-8-5-1102

TEL(FAX)046-841-6326 携帯電話:090-5303-0828 URL <http://k-kinoshita.jp/>



- 所属会派: 自由民主党
- 所属常任(特別)委員会
  - ・議会運営委員会
  - ・建設常任委員会(委員長)
  - ・廃棄物処理等特別委員会

○平成21年第3回定例会: 決算審議

9月3日(木)から10月6日(火)の34日間にわたり、第3回定例会が開会されました。例年、第3回定例会は、主として決算案を審議する定例会です。

10月6日の本会議において、平成20年度決算は賛成多数で承認されました。

1 決算全般

一般会計の決算額は前年度に比べて、歳入は約4億円増加、歳出は約3億円減少しています。歳入増加の理由としては、①大手企業の増益により法人市民税が増加②地方交付税の増加③国庫支出金の増加(再編交付金)が挙げられます。また、歳出減少の理由としては、①人件費(職員数、給与)の削減②はぐみかん建設事業費の完了が挙げられます。一方で、生活保護などの扶助費は約8億円増加しています。

特別会計の決算額は前年に比べて、歳入・歳出ともに約240億円減少していますが、これは後期高齢者医療費の新設にともない老人保健医療費が減少したためです。

このように、20年度は人件費などの経常経費総額が減少し、市税などの経常一般財源が増加したため、経常収支比率は前年より0.6ポイント好転して95.8%となっています。若干の改善は見られたものの、依然として財政状況は硬直しているといえます。

\* 経常収支比率=(経常的にかかる行政費用)÷(経常的に入ってくる収入)\*

今後、経済状況の低迷や、少子高齢化・人口減少社会の進行などの要因により、将来的な歳入減・歳出増の状況が見込まれます。財政状況が厳しくなることを念頭に置いた市政運営を進める必要があります。

種別	歳入	対前年度	歳出	対前年度
一般会計	1324億円	4億円増 0.3%	1283億円	3億円減 △0.3%
特別会計	955億円	243億円減 △20.3%	927億円	242億円減 △20.7%

	19年度決算	20年度決算	増減
経常収支比率	96.4%	95.8%	0.6pt減

2 自衛隊・米軍関係交付金

交付金は下表のとおりで、予算どおり歳入・歳出されました。なお、19年度から交付が始まった再編交付金は、20年度として前年度分5.2億円が繰り越されています。

種別	決算額	備考
国有提供施設等所在市町村助成交付金	21.7億円	固定資産税相当
特定防衛施設周辺整備調整交付金	3.5億円	公園整備、体育館整備等
再編交付金	11.1億円	5.2億円前年からの繰越ICT活用教育等



○委員会等県外視察報告

委員会等の視察・研修を以下のとおり行いました。報告詳細は、ホームページをご覧ください。

- ・建設常任委員会(11月): 耐震施策の補助金制度とその活用について(品川区)、市街地再開発について(札幌市)、親水空間の整備について(函館市)
- ・全国都市問題会議(10月): 人口減少時代の都市経営(熊本市)
- ・全国市議会議長会研究フォーラム(10月): 日本再生の起爆剤-地方分権改革(金沢市)

木下けんじへの期待・要望・ご意見などをお寄せ下さい。返信FAX 046-841-6326

氏名 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_



インド洋派遣部隊「いかづち」出港

### ○護衛艦「いかづち」、インド洋へ出港

11月9日(月)、インド洋における補給活動に従事するため、護衛艦「いかづち」が横須賀を出港しました。(同日、補給艦「ましゅう」が舞鶴を出港)  
民主党政権は特措法を延長しない方針を公言しており、その場合、1月に法律の期限切れとなり、部隊は撤収することとなります。つまり、平成13年(2001)の9.11同時テロ以来継続してきた、インド洋補給支援任務は、この部隊が最後の任務となります。

見送り時の防衛政務官の訓示では、この活動は国際社会で高い評価を得ているとの認識を示しました。ではなぜ活動取りやめなのか、明確な説明が欲しいものです。隊員の皆さんは、政治に振り回されることなく、任務を完遂し、元気で帰国されることを願っています。

ご存知ですか？

### ○新港埠頭に官公庁集約・新たなまち

新港埠頭の海岸通り沿いに、輸出用自動車の積出場として利用している一画があります。その地区を、平成25年度を目標として、新しいまち(交流拠点)とする構想が進んでいます。

交流拠点は、国・県・市の官公庁施設を集約した「官公庁ゾーン」と商業施設などが立地する「にぎわいゾーン」に区分して利用する構想となっています。「官公庁ゾーン」には、市内に分散している国等の機関(税務署、裁判所、警察署等)を集約統合し、利便性の向上を図ります。「にぎわいゾーン」には、商業施設等を誘致し、横須賀中央周辺、三笠公園付近に新たな人の流れを創出し、まちの活性化を目指します。経済状況の低迷や民主党政権の思惑から、この構想が成就するか不確定要素はありますが、完成すれば、横須賀の活性化のためには良い事業であると思います。

ここで問題が一つあります。この構想では、当初、三春町にある市の救急医療センターが、建替えとして、この地区に移設される考えでした。しかし、吉田新市長は、財政再建を理由として移転反対の立場を表明しています。財源の確保、老朽化対策や利便性向上などの要素を判断肢とする、救急医療センター建替えの是非という問題と、ここに述べました移転先である新港埠頭の活用という異なる問題が混在して、問題を複雑にしていると思います。

救急医療センターは、本市の一次救急の拠点として重要な施設です。施設としての機能向上・立地利便性向上を考慮すると、建替え・移転やむなしというのが私の考えです。もちろん、市の財政状況は考慮すべきですが、市民の安心・安全のために必要な施設は、英断をもって更新すべきでしょう。皆さんどのように思われますか？



新港埠頭

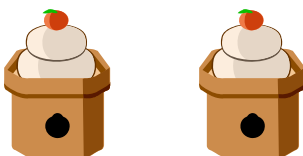


救急医療センター



### ○三浦一族シンポジウム

10月31日、横須賀商工会議所の主催で、三浦一族シンポジウム「夢を紡ぐもののふー三浦一族とその伝承」が、県立福祉大学で開催されました。冒頭、永井路子先生が「三浦氏こそ相模のもののふ」との題名で、記念講演を行い、含蓄のある内容に、勉強となりました。今年から「坂の上の雲」がNHKで放映され、横須賀の評判も上がることと思いますが、その次は三浦一族ですよ。(NHK大河ドラマとして放映されれば良いなと思います)



ホームページを開設しました。  
御来訪をお待ちしています。  
URL <http://k-kinoshita.jp/>

### 木下けんじの経歴

昭和25年生まれ  
夏島小、追浜中、県立横須賀高校卒業  
昭和48年防衛大卒業  
以後海上自衛隊勤務 潜水艦艦長等  
平成18年海上自衛隊定年退官

現在  
横須賀海洋少年団 顧問  
横須賀水交會 理事  
隊友会横須賀支部 相談役

連絡先

木下けんじ 事務所

〒239-0822横須賀市浦賀5-8-5-1102 TEL (FAX) : 046-841-6326

URL <http://k-kinoshita.jp/>

携帯電話:090-5303-0828